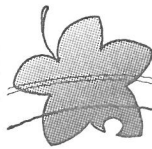


9月議会報告をお届けします



コロナ禍の今後

10月1日より緊急事態宣言は解除されましたが、この議会だよりがみなさまに届く頃にはどのような状況になっているでしょうか。いつまでこのコロナ禍が続くのか、まだまだ先が見えませんが、仕事や学校など日々の暮らしは綿々と続きます。第2波が過ぎた今、感染状況は落ち着きつつありますが、今回は幼い子どもを含む若年層の感染が増加し、今後予断を許しません。

市としても国や県と連携し、市民に寄り添える取り組みを可能な限り行ってきます。私の元に届いた要望の中で「飲食・観光・繊維等特定の業種に限られた支援だけでなく、より多くの業種・業者へ拡大して支援してほしい」というものがありました。こうした声に応えるべく、この度の9月議会でも、中小事業者への支援が実現しました。今後もより一層市民の暮らしの安心・安全のために課題と向き合い、市民の声をくみ取っていくかなければなりません。引き続き、みなさまの要望をお聞かせください。

今 政治状況は

この状況下で、新内閣発足として衆議院議員選挙が行われようとしています。来たる衆議院選挙では、暮らしの安心・安全を最優先に考えられる人を選ばなければなりません。みなさまには日常の暮らしに対する思いを投票の一票が求められています。

現在の中央の政治状況は、国民の暮らしに依拠することなく、自分たちの党利党略を優先したのものになっています。それは9月下旬に行われた自民党の総枝選考にもはっきりと表れています。コロナ禍における国民の暮らしの不安に政治がどう対応するのかが問われている中で、現政権と変わらないメンバーでの争いに果たして新たな第が生まれようか。



暮らしの課題

9月議会の議論もコロナ対応に関するものが中心になりました。市長の総体説明では大まかにまとめるこのことに触れています。1つ目は、コロナワクチン確保・接種率の向上への取り組みについてです。現在の福山市の接種率は、65歳以上は89%、市民全体は59%となっています(10月3日現在)。また、10月の早い時期までに市民の接種が終了を目指す表明されました。2つ目は、宿泊療養所の確保、酸素ステーションの設置についてです。県と連携して取り組みが進められる予定です。

市内の学校では9月の2学期スタートから5校で午前と午後に分散登校が行われました。分散登校をしない学校でも、午後の下校を早めたり自宅でのオンライン学習を行ったりなどの工夫が施されています。一番懸念

されていた学校でのクラスター発生ですが、これらの対策の結果、公立学校でのクラスター発生は未だありません。今後も行政による対策だけでなく、児童・生徒一人ひとりの手洗い・うがい等の基本的な予防と各学校での最大限の感染予防策の取り組みを継続することが重要だと思います。

文教経済 委員会



私が所属している文教経済委員会の中で、2学期から取り組まれている分散登校における児童・生徒へのフォローの在り方、特に小学校低学年の児童への配慮について確認しました。まず、家庭の事情や保護者の仕事の関係等で分散登校に十分対応できないケースも予想される為、個々の児童・生徒に沿った細やかな配慮と指導を要望しました。

また、8月末に開催された教育委員会協議の中で、教育委員会から分散登校について同様の指摘がありました。そこで登下校における安心・安全について、地域の協力を求めることも併せて要望しました。次に、コロナ禍における授業時数や出席日数のカウンターの在り方について確認をし、要望を伝えました。

会派一般質問(西本厚積分)から

9月議会的一般質問では、GIGAスクールにおける学習用端末(タブレット)、図書館における電子書籍貸出サービスについて質問しました。まず、タブレットの使用については、学校間での格差があることが、市として統一的な対応方針を明確にすることや教職員への研修機会の確保を求めました。また、東京都で発生したタブレットを使ったいじめを受けて、本市でも児童・生徒や保護者・家庭への指導の徹底も再請しました。本事件はタブレット内のチャット機能を利用したいじめが原因でした。本市で使用している学習用端末には、クラスの児童・生徒が一斉に参加し議論することができるチャット機能がありますが、使用時には必ず担任が同席する仕組みにすることが、いじめに繋がる悪質な書き込み等にはきかないようになっていきます。

また、タブレットを使用する子どもたちは、市の図書館と連携した電子図書貸出しサービスについても利用できるように環境にあります。これからの時代、電子図書による読書が主流となっていくでしょう。それに、図書に触れる機会が増えることは子どもたちにとっても有意義なことだと思います。また紙の本との違いを感じることで、改めて紙の本の良さも再認識してもらえれば良いと思います。利用方法と指導を強化し、より多くの子どもたちに利用してもらえれば良いと考えます。

衆議院議員選挙で私は

- ◆ 広島7区 さとつ 広典さん
- ◆ 比例代表 立憲民主党 を支援しよう。